

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	cocoro		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの課題や保護者のニーズに合わせて個別療育に取り組んでいる。また幅広く集団活動を行うことで経験、体験を通じて楽しみながら成長することが出来る。	なるべく子どもが飽きることが無く、楽しく取り組めることを意識すると共に、積極的に情報収集をし、職員同士で意見を出し合いながらプログラムを作成している。	保護者のご意見や他施設の活動を参考にしながらプログラムの充実を図る。
2	地域のパーソナルジムと協業しての運動活動や工務店と協業しての制作活動、また訪問看護ステーションと協業を行っての訪問看護サービス等、自社内のみならず地域と関わり合いながら、子ども達に対してより高い質の支援、サービスを提供することが出来る。	専門的に携わっている方との協業を行うことで、質の高い体験が出来ると共に、職員以外の普段関わりが無い人と関わることで、ソーシャルスキルの向上へも繋げられるよう工夫している。	より地域との繋がりを広げ、支援へと繋げられるよう取り組む。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部機関(支援学校や小学校や他事業所等)との連携が希薄であること。	情報連携に対する意識や行動が不足している。	情報連携に対する意識を高め、支援学校や小学校、保育園等の外部機関と連携を取りながら、課題の解決へ向け取り組んでいく。
2	事故、災害対応時等の緊急時のマニュアルは策定しており、定期的な訓練も行っているものの、実際の緊急時にスムーズな対応が出来ない恐れがあること。	マニュアル等について、作成する事が目的になってしまい、実際の緊急時の対応面でそぐわない恐れがある。	マニュアルとは別途、より実際の緊急時の対応に沿ったフローチャート等の作成を進めていく。